

第19回環太平洋経済連携協定（TPP）交渉会合（報告）

公益社団法人 日本医師会副会長

羽生田 俊

1. 出張期間

平成25年8月26日（月）～8月31日（土）

2. 目的地

バンドル・スリ・ブガワン（ブルネイ）

3. 内容

第19回環太平洋経済連携協定（TPP）交渉会合がブルネイで開催され、ステークホルダーとして出席した。

ブルネイ政府主催ステークホルダー会合は、「知的財産」と「投資、物品市場アクセス、その他」の2つに別れて同時に開催され、主に医薬品等の特許期間についてのプレゼンテーションが行われた「知的財産」に臨席した。その後、各国首席交渉官との対話の場が設けられ、バーバラ・ワイゼル米国首席交渉官と意見交換を行った。

併せて、交渉会合中、日本政府によるステークホルダーへの説明会が2回開催され、それに参加して意見を述べるとともに、渋谷和久内閣審議官から、会合の進捗状況や今後のスケジュールについての報告を受けた。

さらに、自由民主党TPP交渉派遣議員団結果報告会（西川公也自民党 TPP対策委員長、吉川貴盛同委員会事務局長）に臨席し、鶴岡公二 TPP首席交渉官からの報告を受け、団体あいさつ、意見交換を行った。

4. 主な日程

8月27日（火）ブルネイ政府主催ステークホルダー会合（参考資料1）

8月28日（水）第二回日本政府によるステークホルダーへの説明会

8月29日（木）第三回日本政府によるステークホルダーへの説明会

8月30日（金）自由民主党TPP交渉派遣議員団結果報告会（参考資料2）

第19回TPP交渉会合（ブルネイ）
ステークホルダー会合（8月27日）について

平成25年8月27日
内閣官房TPP政府対策本部

- 本日、ブルネイ政府主催のステークホルダー会合が開催された。午前9時から11時にかけて、知的財産、投資、物品市場アクセス、その他のテーマに分かれてステークホルダーからプレゼンテーションが行われた。
- 日本からは計5団体がプレゼンテーションを行った。物品市場アクセスの分野で「精糖工業会」、「日本の畜産ネットワーク」が、その他のテーマで「TPPって何?」、「日本消費者連盟」、「TPPを考える国民会議」がプレゼンテーションを行った。
- 午前11時から12時にかけては、首席交渉官との対話の場が設けられ、各国のステークホルダーと各交渉参加国の首席交渉官が対話を行った。

(以上)

結果報告会 議事次第

8月30日(金) 16:00～
ナショナル・スタジアム
ジュリス・ルーム

1. 開会・進行

吉川 TPP対策委員会事務局長

2. あいさつ

西川 TPP対策委員会委員長（団長）

3. 議事

(1) 党声明の紹介（吉川事務局長）

(2) 結果報告

・ 政府（鶴岡首席交渉官）

(3) 団体あいさつ

4. 意見交換

5. 閉会

TPP協定第19回交渉会合の終了に当たっての声明

平成25年8月30日

自由民主党TPP交渉派遣議員団

本日、ブルネイ国バンダル・スリ・ブガワンにおいて開催されたTPP協定第19回交渉会合が終了した。

今回より、わが国は、8月22日の初日から、全ての会合（閣僚、首席交渉官、10の分野で行われた分野別会合）に参加した。

我々は、政府交渉団に対し、守るべきものは守り、攻めるべきものは攻めることで、国益の最大化に全力を尽くし、特に農林水産分野の重要5品目をはじめとする聖域の確保のために、自民党及び衆・参農林水産委員会の決議を踏まえて交渉するよう、改めて強く申し入れた。

今回の交渉を通じ、我々は、アジア太平洋地域において、モノ、サービス、投資の流れを活発化させ、その中で日本経済が成長していけるためのルール作りが着実に進んでいるとの感触を得た。他方で、依然として未解決の論点も残っており、特に物品市場アクセスについてはまだ議論を重ねる必要がある。

期間中、我々は、米国、カナダ、豪州、NZの主要な農業団体等と積極的な議員外交を展開し、日本の立場を強く主張するとともに、党・国会の決議英訳を手交し理解を求めた。

今後、交渉がどのように進展するか予断を許さないが、わが党は、引き続きTPP対策委員会を中心に全党挙げて国益の確保に全力を傾注する決意である。

むすびに、鶴岡公二首席交渉官を先頭に、交渉に当たった政府関係者の努力に対して、深甚なる敬意を表する。